

河合雅雄（1924-2021）年譜

- 1924 兵庫県多紀郡篠山町（現・丹波篠山市）に誕生
- 1941 兵庫県立鳳鳴中学校卒業
- 1949 官立新潟高等学校卒業
- 1952 京都大学理学部動物学科卒業
- 1956 財団法人日本モンキーセンター専任研究員
- 1970 京都大学霊長類研究所教授
- 1978 京都大学霊長類研究所所長
- 1985 日本霊長類学会初代会長
- 1987 京都大学名誉教授、愛知大学教授
財団法人日本モンキーセンター所長
- 1990 紫綬褒章
- 1991 日本福祉大学教授
- 1992 兵庫県教育委員
- 1995 勲三等旭日中勲章
兵庫県立人と自然の博物館長
- 1996 兵庫県立丹波の森公苑長
- 2002 篠山市（現・丹波篠山市）名誉市民
- 2003 兵庫県立人と自然の博物館名誉館長
- 2004 愛知県犬山市名誉市民
- 2005 兵庫県立丹波の森公苑名誉公苑長
- 2007 篠山市（現・丹波篠山市）展審査委員長
兵庫県森林動物研究センター名誉所長
- 2013 財団法人日本モンキーセンター会長
兵庫県森林動物研究センター所長
- 2015 篠山市（現・丹波篠山市）日本遺産推進協議会顧問
- 2021 丹波篠山市の自宅にて逝去 従四位

主な著書

- 『少年動物誌』（福音館書店）1976年
第14回野間児童文学賞（推薦作品賞）、レディ・ガスコイン賞
- 『人類誕生のなぞをさぐる アフリカの大森林とサルの生態』（大日本図書）1977年 第25回産経児童出版文化賞（推薦作品賞）
- 『森林がサルを生んだー原罪の自然誌』（平凡社）1979年
- 『クイズどうぶつの手と足』（福音館書店）1987年
- 『子どもと自然』（岩波書店）1990年
- 『小さな博物誌』（筑摩書房）1991年
第39回産経児童出版文化賞
- 『人間の由来（上）・（下）』（小学館）1992年
第46回毎日出版文化賞
- 『河合雅雄の動物記全8巻』（フレーベル館）1997～2014年
第49、53回産経児童出版文化賞（推薦作品賞）
- 『サル学者の自然生活賛歌ー森に還ろうー』（小学館）2006年
- 『ドエクル探検隊』（福音館書店）2018年

丹波篠山市名誉市民 河合雅雄顕彰室「万兔（マト）の部屋」

〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡 191
丹波篠山市民センター 1F 図書コーナー内
TEL：079-552-0394



■ 開館日

火～土曜日 午前10時～午後6時
日曜日・祝日・12月28日 午前10時～午後5時

■ 休館日

月曜日（祝日の場合は開館。翌平日休館）
資料整理日（毎月末。土～月曜日の場合は翌平日）
年末年始、資料特別整理期間、ABCマラソン開催日
※上記以外にも臨時休館する場合があります。

■ アクセス

【お車で】

舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から約15分

【電車で】

JR福知山線「篠山口駅（西口）」からバスで約15分
「二階町」バス停下車、北へ徒歩5分

■ 発行元

丹波篠山市役所 企画総務部 秘書広報課
TEL：079-552-5109 FAX：079-552-5115
MAIL：hisho_div@city.sasayama.hyogo.jp

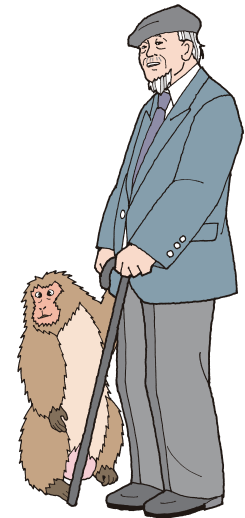


日本農業遺産認定
丹波篠山の黒大豆栽培・300年の歴史

万^マ兔^トの部^ハ屋^ヤ

丹波篠山市名誉市民

河合雅雄 顕彰室



デスクワークゾーン

河合雅雄クロニクルと著書展示

自然豊かな丹波篠山で生まれ、世界のサル博士となられた河合雅雄氏の年代記を数々の著書とともに紹介します。



書齋 (再現)



河合雅雄氏の書齋を再現。1本1本大切に使用されていた鉛筆や趣味の楽器、昆虫採集の標本などを展示しています。

フィールドワークゾーン

愛用品の展示と写真パネル

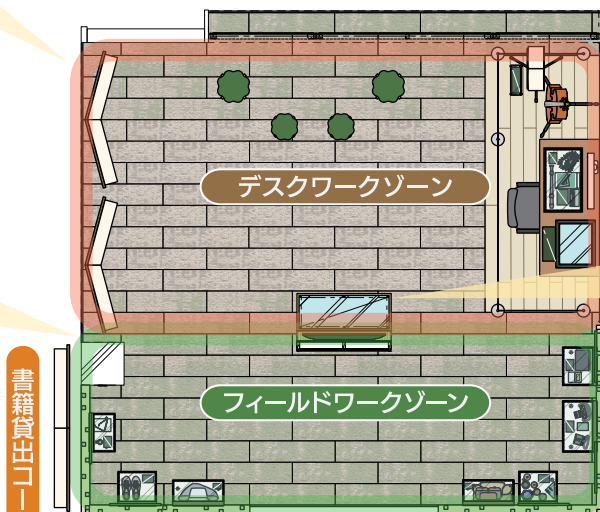
フィールドワークで実際に使用されていた愛用品を写真パネルとともに展示しています。



マ ト ヘ ヤ 万 兎 の 部 屋



生きとし生けるものを愛され、霊長類学者として、また児童文学者として活躍された河合雅雄氏。その功績や数々の著書、実際に使用されていた愛用品を展示するとともに、自然保護や野生動物との共生、歴史文化を活かすまちづくりなど、河合雅雄氏の教えが息づく丹波篠山市の取組みを紹介します。



※「万兎の部屋」内の書籍は、手にとってご覧いただけますが、貸出できません。書籍貸出コーナーの図書をご利用ください。

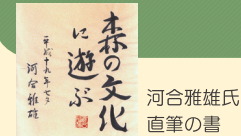
ぼく い 僕らはみんな生きている

河合雅雄氏が大好きだった歌は、「僕らはみんな生きている」で始まる『手のひらを太陽に』でした。この歌のとおり、ふるさとの美しい自然や生き物を慈しみ、自然との共生を説き続けられました。その教えが息づく丹波篠山市の取組みを紹介します。

河合雅雄氏の教えが息づく 丹波篠山市の取組み

1

丹波の森構想



5

文化



2

川づくり



6

農都・農業



3

里山



7

野生動物の保護と管理



4

原風景のまち丹波篠山



8

生物多様性



ホームページでも
紹介しています

